

学校だより



# 平沼

令和5年1月31日

横浜市立平沼小学校

Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranauma/>



## 一人一人のよさ～個性～

副校長 桐畑 美登利

この冬一番の最強寒波が流れ込み、厳しい寒さの中ですが、校庭の紅梅は1月半ばより満開となり、日中の日差しが徐々に明るくなってきました。

今年も「<sup>きさらぎ</sup>如月」「<sup>うめみづき</sup>梅見月」を迎え、春は一步一步近づいています。



校庭の紅梅

休み時間になると、子どもたちは、手に手に赤や青やピンクなどカラフルな縄跳びを持って校庭や体育館へ向かい、それぞれ挑戦したい縄跳びの種目に取り組んでいます。休み時間が終わる頃には「200回跳んだよ」と報告してくれたり、「見て、見て。」と綾跳びなどをその場で見せてくれたりします。

また図書室では、静かに本を読む児童の姿もあります。1月は冬休みの貸出を終えて戻ってきた大量の本を、学校司書の先生がせっせと返却事務をしてくださしました。「ブックマークひらぬま」なる手作り<sup>しおり</sup>葉も、本を借りる子どもたちに手渡され、喜んで活用されています。

縄跳びに取り組む姿も、また選ぶ<sup>しおり</sup>葉ひとつ・読みたい本一冊も、みんなそれぞれに違います。

さて、2月最終水曜日（今年は22日）は「ピンクシャツデー」、「いじめ反対」の意識表示の日です。

この発端は、2007年カナダのハイスクールで9年生（中3年生）男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したところ、からかいいじめられてしまいました。その出来事を知った12年生（高校3年生）男子生徒2人は、その学校で過ごす最後の年なのに、「いじめはうんざりだ」と自分たちもピンクシャツを着ていじめストップのアクションを起こそうと友達に呼びかけたのでした。

2人はその日のうちに75枚のピンクのシャツを買い備え、翌日、校門で配ろうと準備をしましたが、驚いたことに、数百人もの生徒がピンク色のシャツや小物を身に付けて登校し、校舎内がピンク色になりました。いじめストップの意思表示が、賛同する輪を広げて大きな力となったのでした。カナダの2人の生徒が起こした出来事から、今や180の国や地域に広がるワールドアクションとなっています。

3月17日に6年生が卒業します。優しい感性と最高学年としての責任感をもち、平沼小学校をここまでリードしてくれました。残り少ない小学校生活を、有意義に楽しく過ごしてほしいと願っています。

同様に全校児童一人一人、自分の個性を見出し、周りの人の個性をも尊重し合いながら素敵な学校を創り上げてほしいと思います。

2月もまた、地域・保護者の皆様のお力をお借りし、ご協力いただきながら、明るい春に向かって一日一日を大切に過ごせるよう見守っていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。